

安曇野市公民館報

安曇野市
中央公民館
No.50 2019.9.4
TEL71-2466

大逆事件 サイドストーリー

明科公民館は7月25日、明科歴史探訪講座「大逆事件サイドストーリー」を開催し、43人が参加した。講師は安曇野市文化財保護審議会委員の大澤慶哲さん。今回は大逆事件に関わったとされたことにより運命が変わった高木頭明とその家族、地域を巻き込んだ森近運平に焦点をあてて事件を語った。

大逆事件は、明治天皇の暗殺を計画したとして、多くの社会主義者や無政府主義者が検挙された事件で、幸徳事件ともいわれている。それは明科で発生した事件から始まった。臨時工として明科にやってきた宮下太吉が爆裂弾を製造し、爆破実験を行った。社会主義者の菅野スガが宮下ら3人と、爆裂弾による天皇暗殺を計画したとし、幸徳秋水を含む5人が逮捕されたのである。事件はこれで終わる



は、無期懲役に減刑されたものの、僧籍削除された事に絶望し、監獄内で自死する。高木の妻と養女は寺を追われ、養女の加代子は芸者を開業し成功を収め、天理教高代分教会の教会長となった。

一方、森近は死刑判決後、地元で助命嘆願運動が起きたが、判決後わずか6日で死刑が執行された。死刑執行後は地元の空気は一変し、今でも森近について語られる事はないそうである。

1人の証人調べもなく、公判からわずか1カ月足らずで結審した暗黒裁判は、平成時代に一部の事件関係者の名誉回復が図られたが、令和の現代でも考えさせられる内容だった。

7月11日、三郷小学校第二体育館において「情報モラル講演会」が三郷公民館と三郷小学校PTA主催、長野県生涯学習推進センター、三郷中学校PTA共催で開催された。講師にみやばやしこどもクリニック院長の宮林麻里さんを迎え、前半は4〜6学年の児童も一緒に聞く「親子の部」、後半は「親の部」という二部構成で進められ780人余りの参加者が学んだ。

親子で学んだ メディアとの付き合い方



「親子の部」では、メディアとは携帯ゲーム機やスマホ、パソコン、テレビなど情報を伝える仲間をするものという説明から始まった。ゲームを始める適齢期は現実と空想の区別がつく8〜10歳であること、メディアと仲良くしすぎると脳が委縮したりするなどの悪影響を及ぼすこと、気が付かないうちにやめられなくなるのは病気であること、さらにメディアの向こうには悪い大人がいて犯罪に利用しようとしていることなどが伝えられた。楽しむ場所や時間などのルールを決めて上手に付き合い、子どもの健康に一番必要な早寝、早起き、朝ご飯、遊びや運動

をして丈夫な脳と体を作ってくさいと締めくくった。「親の部」では、日本小児科医学会「子どもとメディア」の問題に対する提言や、松本市の小中学校「電子メディア機器等に関するアンケート調査」結果の概要が紹介され、ゲーム依存はアルコール依存やギャンブル依存と同様の病気に認定されたこと、重症の依存になった場合には抜け出すことが非常に難しいこと、子どもを依存から遠ざけるために親子で一緒に話し合いながらルールを決めて文書に残し家族全員で守ることなどの提言がされた。

最後に、子どもに危険が迫ってきているときは、たとえ憎まれてもその危険から守る覚悟を持つこと、子どもにとつて「都合のいい親」にならないことなど親の在り方を語った。

三郷小学校PTA副会長の内山文明さんは、お礼の言葉として、「親は子どもの手本になること、メディアが健康に悪影響を及ぼしたり、犯罪につながるの恐ろしさを持つことを知っておき、メディアに対する勉強を続けることが大事で、今後の子育てに役立てたい」と語った。




地域文化祭の開催・作品募集

日ごろの活動の成果であるご自慢の作品・一芸を文化祭で発表しませんか。
 出展点数は作品内容によって異なりますので、各地域公民館へお問い合わせください。
 また、文化祭に出展された作品の中から、令和2年3月開催の「安曇野市総合芸術展」の
出展作品が選ばれます。皆さんの出展をお待ちしています。
 ※なお、都合により時間などが変更になる場合があります。



豊科

問い合わせ先：豊科公民館 (TEL72-2158 FAX73-6401)

募集内容	絵画・水墨画・書道・写真・彫刻・彫塑・工芸・菊花・盆栽など	
申込み期限	9月20日(金)	申込み方法 豊科公民館窓口で所定の用紙に記入
展示日程(展示場所)	美術・一般作品(豊科公民館) 展 示: 11月8日(金)～11月10日(日) 午前9時～午後5時 ※11月10日(日)は午後3時まで 搬 入: 11月7日(木)午前9時～ 片付け: 11月10日(日)午後3時～	菊花展(豊科交流学習センター「きぼう」回廊中庭) 展 示: 10月31日(木)～11月4日(月) 午前9時～午後4時 搬 入: 10月30日(水)午後1時30分～ 片付け: 11月5日(火)午前8時30分～ 華道展・書道展(豊科交流学習センター「きぼう」) 展 示: 11月2日(土)～4日(月) 午前9時～午後5時 ※11月4日(月)は午後3時まで 短歌大会(豊科公民館 講座室) 開催日: 11月16日(土) 俳句大会(豊科公民館 大会議室) 開催日: 11月17日(日)
ステージ発表(開催場所)	芸能発表会(豊科公民館 大ホール) 開催日時: 11月3日(日・祝) 午前8時30分～午後5時 (各種出演者募集) ※出演団体による実行委員会を組織します。	



穂高

問い合わせ先：穂高公民館 (TEL82-5970 FAX82-3990)

募集内容	書道・絵画・写真・短歌俳句・陶芸・彫刻・彫塑・手工芸・木彫・菊花・踊り・合唱・器楽・カラオケなど	
申込み期限	9月28日(土)	申込み方法 穂高公民館窓口で所定の用紙に記入
展示日程(展示場所)	総合美術展(穂高総合体育館) 展 示: 11月2日(土)～4日(月) 午前9時～午後5時 ※4日(月)は午後3時まで 搬 入: 11月1日(金)午後1時 片付け: 11月4日(月)午後3時	あづみ野菊花展(穂高神社) 展 示: 10月27日(日)～11月10日(日) 午前9時～午後5時 ※10日(日)は午後4時まで 搬 入: 10月23日(水)～24日(木) ※予備日25日(金) 片付け: 11月11日(月)
ステージ発表(開催場所)	芸能まつり(穂高会館講堂) カラオケ: 11月2日(土) 午前9時～午後2時 一部: 11月3日(日・祝) 午前9時30分～午後3時 二部: 11月4日(月)午前9時～正午	盆栽・山野草展(穂高神社) 展 示: 10月18日(金)～20日(日) 午前9時～午後4時 ※20日(日)は午後3時まで


三郷

問い合わせ先：三郷公民館 (TEL77-2109 FAX77-6060)

募集内容	盆栽・山野草・木彫石彫・生花・絵画・彫刻・彫塑・手工芸・短歌俳句・和洋裁・写真・絵画・書道・菊花など		
申込み期限	8月30日(金) ※地域回覧で周知済み	申込み方法	三郷公民館窓口で所定の用紙に記入
展示日程(展示場所)	文化産業展(三郷文化公園体育館) 展 示: 10月12日(土)午後1時～8時 13日(日)午前9時～午後4時 搬 入: 10月12日(土)午前9時～10時 片付け: 10月13日(日)午後4時～5時	菊花展(三郷公民館ロビー) 展 示: 10月29日(火)～11月2日(土) 午前9時～午後9時 ※2日(土)は午後3時まで 搬 入: 10月28日(月) 午後1時～3時 片付け: 11月2日(土) 午後4時～5時	
ステージ発表(開催場所)	ふれあいコンサート(三郷中学校 講堂) 開催日時: 10月19日(土) 午前9時～正午 芸能発表会(三郷公民館 講堂) 開催日時: 11月2日(土) 午前9時～午後3時		


堀金

問い合わせ先：堀金公民館 (TEL72-5796 FAX72-4900)

募集内容	書道・写真・絵画・手工芸・俳句短歌・歴史・生活・菊花・生花など		
申込み期限	個人で出品される方 10月10日(木)	申込み方法	堀金公民館窓口で所定の用紙に記入
展示日程(展示場所)	作品展示(堀金総合体育館メインアリーナ) 展 示: 10月25日(金)～27日(日) 午前9時～午後8時 ※10月27日(日)は午後4時まで 搬 入: 10月24日(木)午前9時～午後5時 片付け: 10月27日(日)午後4時～5時	堀金一周駅伝大会 開催日: 11月3日(日・祝) 発走場所: 堀金支所正面駐車場 オープン参加: 午前9時15分～ 発走時間: 午前9時45分～	
ステージ発表(開催場所)	芸能祭(堀金総合体育館サブアリーナ) 開催日: 10月26日(土) 午前11時30分～午後5時(予定)		

明科

問い合わせ先：明科公民館 (TEL62-4605 FAX62-5894)

募集内容	書道・水墨画・絵画・写真・彫刻・彫塑・陶芸・和洋裁・手芸・織物・押花・押絵・生花・菊花・盆栽・俳句短歌・学習発表など		
申込み期限	9月30日(月)	申込み方法	明科公民館窓口で所定の用紙に記入
展示日程(展示場所)	作品展示(明科公民館) 展 示: 11月2日(土)～4日(月) 午前9時～午後5時 ※11月4日(月)は午後3時まで 搬 入: 11月1日(金)午後1時～ 片付け: 11月4日(月)午後3時～	お楽しみサロン(明科公民館講堂) 11月2日(土)午前10時～午後3時 芸能発表会(明科公民館講堂) 11月3日(日・祝)午前10時～午後2時 オーケストラコンサート(明科公民館講堂) 11月4日(月) 午前10時～正午	
ステージ発表(開催場所)			



絵：加々美 豊
花：ワレモコウ

とよしな
花と生き物が棲む庭作り

豊科公民館は7月12日に出会い・ふれあい・生きがいセミナーの1回目「花と生き物が棲む庭づくり」を開催し、40人が参加した。講師のガーデンファームライフ オブ安曇野会員の片桐厚子さんは、四季折々の庭の様子を写真を交えながら話した。蝶が飛び交う庭「バタフライガーデン」作りのため、蝶が好む植物を植えた、消毒をせず無農薬管理をしたりするなど工夫している話に、受講者は熱心に耳を傾けていた。



ほたか
幸せな子育てができるために

穂高公民館は7月4日に「教育講座・幸せな子育てができるために」を開催した。講師は、アドラー心理学カウンセラーで認定子育てハッピーアドバイザーの百瀬敬子さん。子育て中のお母さんをはじめ幅広い年代の25人が熱心に受講した。

アドラー心理学では、幸せの3つの条件は「自己肯定感」「ありのままの自分を受け入れる」「他者

あかしな
音楽で楽しく認知症予防

明科公民館は7月9日に楽しい認知症予防講座「音楽で脳を活性化しましょう」を開催した。

講師は日本音楽療法学会認定音楽療法士の杉本裕子さん。音楽療法は、音楽の持つ生理的、心理的、社会的働きを用いて行われる治療的、教育的技法で、認知症の予防や進行抑制にも効果があるとされる。

講師の指導の下、26人の参加者は懐かしい歌を聞いたり、歌ったりしながら、椅子に座り体を動かして、心身の機能向上を図っていた。



7月7日、三郷公民館講堂に地区公民館役員が集まった。藤松三郷公民館長の「苦労の中にも楽しみを」というあいさつのあと、第一部は少人数のグループワークで「人集めの苦労や工夫」「特色ある事業」について話し合い、日ごろの活動についての苦楽を分かち合った。

みさと
公民館役員研修会

第二部はスポーツ推進委員の指導によりニュースポーツの体験が行われ、囲碁ボールやボッチャなどを通じて、役員同士の交流を深めた。



また、知り合いでない受講者とペアになって自己紹介をしたり、会話をしたりするワークシヨップを取り入れて、講座は楽しく進んだ。



信頼し他者を信頼し受け入れる」「他者貢献し貢献させてもらえることを感謝する」であるとの理論に基づき、家庭や学校での具体例を示しながら話した。

ほりがね
童謡・唱歌 心の歌を歌う

堀金公民館は6月27日、音楽家の西山紀子さんを講師に「童謡・唱歌・心の歌を歌いましょう」講座を同館スタジオで開催した。

22人が参加し、童謡と唱歌の違い、その歌がつけられた時代背景などを学びながら合唱した。

穂高の有明高原寮とゆかりのある「とんがり帽子」や、「山小舎の灯」「青い山脈」などの懐かしい曲、「信濃の国」「ふるさと」などの歌声が響いた。



カセットテープに録音された昭和初期の少女歌手の「雨降りお月」や「カナリヤ」の歌声を聞き、往時に思いをはせた。

講座は10月まで毎月1回開催され、季節や行事に合わせて童謡や唱歌を一緒に歌う。

7月12日、小説「安曇野」で知られる白井吉見の「れんげ忌」に墓参りと講演会が行われ、文学館から田尻の墓地まで歩き故人をしのいだ。没後32年、昔のことのようだが最近のことのようにも思える。いつしか脳裏に白井吉見が作詞を手掛けた堀金中学校の校歌が流れていた。(T・Y)